

沖縄県国際性に富む人材育成留学事業 平成 29 年度派遣決定(内定)

11 月 22 日、県教育委員会より「沖縄県国際性に富む人材育成派遣事業平成 29 年度派遣生」派遣選考結果が届きました。

あっぱれ!! 見事、長嶺芽衣さん(2-1)が来年夏から約 1 年間の県費でのアメリカ合衆国派遣の切符を手に入りました。

「合格通知が来てどう思った？」の質問に「信じられない!! の一言でした。昨年、非常に悔しい思いをしていたので来年こそは！と学習に励んできました。教科担任の永井先生、ALT のオリバー先生、担任の達先生など多くの先生方、日々応援してくれた友人、そして留学に行かせてくれる両親に感謝の気持ちでいっぱいです。この方々の支えが無かったら今回このような結果を得ることはできなかったと思います」と感謝の意を表し、さらに「これからの派遣までの半年間は、気を抜かず、日々対策に励み県代表の自覚を持ちながら、留学に向けて励みたい」ときっぱり。



一通りインタビューをした後「結果を聞いて、ご両親はどうだった」と聞くと、「両親は平静を装っていましたが、内心は最高に喜んでくれていたと思います。その日の夕食はステーキでした!!」と何とも素敵(すてーき)で親孝行な笑顔で応えてくれました。

本プログラムは「国際性と個性を涵養し、グローバルに活躍出来る人材育成を図る」ことを目的に沖縄県教育庁県立学校教育課が実施するもので「国外の短大や四年制大学、大学院へ、沖縄の高等学校生、高等専門学校生、専門学校生、短大生、大学生、大学院生を派遣します」とあり、今回の決定はこの狭き関門を突破しての快挙であることを示しています。

インタビューの最後に友人や後輩たちに一言として「何事も目標をもって取り組むことが大事であること、失敗してもそれを乗り越え、継続して取り組むことで力(自分の場合は英語力)が身についた」とあり、笑顔の中にその意志の強さを感じさせる言葉が印象的でした。

ちなみに、同プログラムで本校生徒が 1 名派遣されています。本校は留学の G 高でもあります。

放課後、遅くまで英会話のレッスンをしてくれたオリバー先生は“*She is very good! She is member of my English club. I am happy too!!*”と話してくれました。オリバー先生本当に Thank you so much!!